



ハイライトよねやま 203

2017年2月13日発行

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 下期の寄付状況 —

1月までの寄付金は前年同期と比べて5.6%減（普通寄付金2.6%増、特別寄付金9.8%減）、約6,100万円の減少となりました。前年度と比較すると減少額は大きいですが、累計金額としては直近5年間のほぼ平均額となります。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの76%、1,718クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

2017学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2017年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月から1月末にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,358人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた586人（枠）が合格予定です。現在まで報告を受けた合格者の出身国・地域は、中国、ベトナム、韓国、台湾、モンゴル、マレーシアなどが多くなっています。

今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって、人数と国籍の変動が見込まれます。このほか、現役奨学生の延長制度であるクラブ支援奨学金には2人が合格しました。海外からの個人直接応募制度の海外応募者対象奨学金、および、海外学友会推薦奨学金は現在選考中です。2017学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた780名（枠）となります。

副理事長就任のお知らせ



前副理事長、杉谷卓紀氏（玉名RC）のご逝去に伴い、当財団規程に基づき、役員候補者指名委員会で副理事長候補者を選任し、理事会にて承認されました。

2017年2月1日付で、^{はなわ} ^{はるお} 塙 東男氏（第2820地区 笠間RC、現常務理事）が公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 副理事長に就任しましたことをお知らせいたします。

貧困学校支援プロジェクトを実施 — タイ米山学友会 —

タイ米山学友会が1月21日、タイ国中部のスパンブリー県にあるワットブングカー学校を訪問し、「貧困学校支援プロジェクト」を実施しました。参加者は、タイ米山学友会の会員12人と、その家族・友人ら、合わせて28人。ワットブングカー学校からは、教職員4人と、児童40人が参加しました。

当日は、タイ学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集まった、現金や文房具、制服、スポーツ用品など、勉強と生活に必要なものが児童たちに提供されました。また、参加者は、児童たちと一緒にゲームをしたり、お菓子やアイスを食べたりして、交流を楽しみました。

タイ米山学友会幹事のワシン・テイシャチャイニランさんは、「勉強する環境に困ることなく、子どもたちの輝く未来を願っています」と、活動に参加した学友たちの思いを報告してくれました。



スリランカ米山学友会が第1回総会を開催

スリランカ米山学友会の第1回総会が1月7日、コロンボ郊外のマハラガマで開催され、ラクナース・ガマゲ会長（1993-95/宇部西RC）をはじめ学友7人が出席しました。

総会では1年間の活動報告のほか、今後の総会開催時期について検討がなされました。また、幹事長補佐をつとめるサマンタ・テリッジヤゴダさん（2000-01/羽島RC）が、学生に向けたIT関連セミナーを行うことが決まりました。これは、日本留学で得た知識をスリランカの若者へ伝えていきたいという、学友会としての活動提案です。

このほか数人の学友が役員に任命されました。

ラクナース会長は、居住地が離れているなどの理由で学友が集まりにくい実情をふまえたうえで、「われわれの学友会の価値を高め、より魅力的な存在となるために、今いるメンバーのさらなる努力が必要だ」と訴え、「個人レベルではなく、学友会という組織だからこそできるような活動をやっていこう」と、熱心に呼び掛けました。

創立1周年を迎える今年6月には、記念式典を開くとのことです。



第2620地区学友会がスリランカの子どもに文具寄贈

第2620地区（静岡県・山梨県）米山学友会では、副会長のペレーラさんの提案で、彼の母国スリランカの子どもたちに文房具を寄贈する奉仕活動を企画。学友会会員のほか、ロータリークラブや個人などから合計22万円の寄付を集め、それを元に129人分の文房具セットと鍵盤ハーモニカなどの楽器、図書館の図書908冊を購入し、現地の小学校に寄贈しました。

1月13日にスリランカ北部エリヤーワ村の小学校で行われた贈呈式には、同学友会役員4人と学友会に関わりの深いロータリアン2人を合わせ計6人が出席。一行は、全校生徒と先生、多くの村民から温かな歓迎を受け、贈呈後、生徒たちからお礼の言葉と歌が贈られました。また、その前日夜には、スリランカ米山学友会のラクナース会長ら3人のメンバーが駆け付け、国を超えた学友会同士の交流も実現しました。

第2620地区米山学友会の篠原暁恵会長は、「今回、スリランカの地方では、子どもたちに必要な文具や図書がとても不足していることを知りました。参加した役員全員、機会があれば、この有意義な事業を続けたいと思っています」と語りました。

